



馬翠作

五

友

衣食住  
三箇圖  
世帯評判記

通油町

屋板

下

天和二年

百多巻

へ13  
2946  
135



へ13  
2946  
135

賀入て一りあり。机のこの道具市ハ

筆の鞘と腕。高年の一番鎗

按て書集。題句の古衣市ハ

糸の綴と伸。新物の十番袴

五欲迷入猿川。及く口えて

三冊抄。成春稗史。板元。手附金

うけとら。儀者の紙屑巻

享和壬戌春正月

曲亭馬琴識

效ハ文字舎定筆





友成之部

上上吉 節川金平郎

上上吉 孫田茶次郎

上上吉 米越并之助

上上吉 麻見輝火八

上上 唐紙障次郎

上上 片息次郎

上上 茶屋次郎 上上 藤門膳八 上下 湯次郎 上上 藤次郎

大上吉 竹貫通判九郎

上上吉 書出反五良

上上吉 常木高次郎

上上 枘木仲重良

上上吉 二面返裕之助

上上吉 白地寺八

上上吉 榊村加三郎

上上吉 卷田 至極上吉 以川太力丞

正月元日 九条公卿の御祭





ちやうどあつてさうさうさう  
 がらがらとさうめさうさん  
 とさうさうさんさん  
 けあつての金とあつて  
 らうさうさんさん  
 してさうさん  
 ちやうどあつてさうさう  
 がらがらとさうめさうさん  
 とさうさうさんさん  
 けあつての金とあつて  
 らうさうさんさん  
 してさうさん



ちやうどあつてさうさう  
 がらがらとさうめさうさん  
 とさうさうさんさん  
 けあつての金とあつて  
 らうさうさんさん  
 してさうさん

こゝろさうあつてさうさう  
 のちやうどあつてさうさう  
 がらがらとさうめさうさん  
 とさうさうさんさん  
 けあつての金とあつて  
 らうさうさんさん  
 してさうさん



ちやうどあつてさうさう  
 がらがらとさうめさうさん  
 とさうさうさんさん  
 けあつての金とあつて  
 らうさうさんさん  
 してさうさん





野火八のあつちのり  
 上上唐紙障治  
 鹿見野火八  
 上上唐紙障治

野火八のあつちのり  
 上上唐紙障治  
 鹿見野火八  
 上上唐紙障治



野火八のあつちのり  
 上上唐紙障治  
 鹿見野火八  
 上上唐紙障治



世帯







此の書は、  
 大上吉の  
 通の九良  
 極上吉  
 二百八  
 論之助

此の書は、  
 大上吉の  
 通の九良  
 極上吉  
 二百八  
 論之助



此の書は、  
 大上吉の  
 通の九良  
 極上吉  
 二百八  
 論之助

此の書は、  
 大上吉の  
 通の九良  
 極上吉  
 二百八  
 論之助



此の書は、  
 大上吉の  
 通の九良  
 極上吉  
 二百八  
 論之助



あつらひのよきひきかた  
 ぼろのよきもすてりく  
 けしきもよきもの  
 ちやうどかきかた  
 びんせいのよきもの  
 今月せよせよの  
 さんごられし  
 ぼろのよきもの  
 おんごられし  
 ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた



ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた

あつらひのよきひきかた  
 ぼろのよきもすてりく  
 けしきもよきもの  
 ちやうどかきかた  
 びんせいのよきもの  
 今月せよせよの  
 さんごられし  
 ぼろのよきもの  
 おんごられし  
 ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた



ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた

上上吉 白地すり八

あつらひのよきひきかた  
 ぼろのよきもすてりく  
 けしきもよきもの  
 ちやうどかきかた  
 びんせいのよきもの  
 今月せよせよの  
 さんごられし  
 ぼろのよきもの  
 おんごられし  
 ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた



あつらひのよきひきかた  
 ぼろのよきもすてりく  
 けしきもよきもの  
 ちやうどかきかた  
 びんせいのよきもの  
 今月せよせよの  
 さんごられし  
 ぼろのよきもの  
 おんごられし  
 ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた  
 ちやうどかきかた





此の人の名は...  
 大いなる力あり...  
 刀を手にし...  
 敵を打ち...  
 名は...  
 大いなる...  
 刀を手にし...  
 敵を打ち...



此の人の名は...  
 大いなる力あり...  
 刀を手にし...  
 敵を打ち...  
 名は...  
 大いなる...  
 刀を手にし...  
 敵を打ち...



至極上上吉 靖川太刀藏



世帯評判記跋

つりくこんこんこんこんこん  
 よんんんんんんんんんんんん  
 をのかり一冊いんんんんん  
 つきこんこんこんこんこん  
 のんんんんんんんんんんん  
 ままをんんんんんんんんんん  
 あれがらちんんんんんんん  
 九天二んんんんんんんんん  
 がくやのかりんんんんんん  
 かんんんんんんんんんんん  
 しゃのんんんんんんんんんん  
 かんんんんんんんんんんん  
 かんんんんんんんんんんん  
 かんんんんんんんんんんん  
 のんんんんんんんんんんん  
 らあかんんんんんんんんん

豊国画 曲亭馬琴作

引くくくくくくくくくくく  
 うまめをくくくくくく

著作堂主人著  
 △俳諧節用鉞二部  
 全部



馬琴のんんんんんんんんん  
 作のんんんんんんんんんん  
 作のんんんんんんんんんん  
 作のんんんんんんんんんん  
 作のんんんんんんんんんん  
 作のんんんんんんんんんん  
 作のんんんんんんんんんん  
 作のんんんんんんんんんん  
 作のんんんんんんんんんん  
 作のんんんんんんんんんん  
 作のんんんんんんんんんん

△戲子世六家馬槽紙  
 馬琴作 豊国画 馬琴作  
 △手業調法記 西面信  
 同作 ○んんんん出来

